送りがなプリント はってん②（ひとつずつ しらべ）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小5／ひとつの 文に 線の ことば ひとつ（5まいの うち ①）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの まちがい 3しゅるい

あ **送りすぎ** … 漢字が 読む ところまで ひらがなに した　×思もう → ○思う

い **「しい」の「し」が ない**　×美い → ○美しい

う **そのほかの 送りたりない** … ひらがなが たりなくて 正しく 読めない　×考る → ○考える

線の ことばが 正しいか しらべ、○か ×の どちらかに しるしを つけよう。
×は 正しく なおして 右の わくに 書き、記号（あ・い・う）も 書こう。
まちがいは ぜんぶで 6こ。○の ことばは なおさない。線の ことばだけ しらべよう。

○か ×か　なおした 書き方（×の ときだけ）　記号

① たんじょう日に 母が とても 喜こんだ。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

② 教室で えんぴつの 長さを 比べます。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

③ 山道は とても 険かった。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

④ 町の 人口が 増えた。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑤ 海から ふく 風が 快かった。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑥ 社会の じゅぎょうで 地図を 確めた。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑦ 山で 道に 迷いました。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑧ おじさんは 店を 営なんで います。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑨ キャンプで テントを 張った。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑩ おなじ 組の 子とは 親くて、よく あそぶ。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑪ 日曜日の 電車は 混で いた。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

⑫ みんなで 台風に 備えます。

○ × ＿＿＿＿ ＿＿

しらべかた：線の ことばを 声に 出して 読み、漢字が 読む ところと ひらがなを くらべよう。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント　はってん②（日記の　なおし）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小5／日記の　線の　ことば（5まいの　うち　②）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの　まちがい　3しゅるい

あ	**送りすぎ** … 漢字が　読む　ところまで　ひらがなに　した	×思もう　→　○思う
い	**「しい」の「し」が　ない**	×美い　→　○美しい
う	**そのほかの　送りたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない	×考る　→　○考える

日記の　線の　ことばを　しらべて、表に　○か　×を　書こう。
×は　正しく　なおして、記号（あ・い・う）も　書こう。
まちがいは　ぜんぶで　6こ。○の　ことばは　なおさない。線の　ことばだけ　しらべよう。

さくらさんの　日記

十月二十日　くもり

今日は　社会科で　農家へ　いった。

農家の　人が　田んぼを　①耕した。ぼくは　土に　水を　②混ぜて　こねた。

日ざしが　③暑かった　ので、あせを　かいた。

農家の　人は　朝　五時に　④起きます。ぼくは　まだ　作業に　⑤慣た。

ぼくたちは　トマトを　⑥採とった。かごは　⑦重かった。

農家の　人は　⑧新い　道具も　つかって　いた。

ごはんは　農家の　人が　米を　⑨育てた　おかげだ。

ひやして　おいしさを　⑩保た　そうだ。

⑪正い　やり方を　まなんで、ぼくも　農家を　⑫営みたい。

番号	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			

番号	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
⑪			
⑫			

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント　はってん②（手紙の　なおし）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小5／手紙の　線の　ことば（5まいの　うち　③）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの　まちがい　3しゅるい

あ	**送りすぎ** … 漢字が　読む　ところまで　ひらがなに　した	×思もう　→　○思う
い	**「しい」の「し」が　ない**	×美い　→　○美しい
う	**そのほかの　送りたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない	×考る　→　○考える

手紙の　線の　ことばを　ぜんぶ　しらべて、表に　○か　×を　書こう。
まちがいの　かずは　かいて　ありません。×は　なおして、記号（あ・い・う）も　書こう。

おばあちゃんへ

おげんきですか。わたしは　委員会の　仕事にも　①慣れました。

ほうかごに　町の　れきしを　②調らべた。むかしの　地図と　今の　地図を　③比べた。

人は　川の　近くから　駅の　近くへ　④移った。図書館の　先生は　ふるい　本を　⑤貸た。

本には、川の　ようすが　地図で　⑥示して　あった。むかしの　村は　⑦貧かった。

むかしの　人は　力を　あわせて、今の　町を　⑧築いた。

この　町の　ことを　もっと　くわしく　⑨確かめます。

来月は　ぼうさいの　日。台風に　⑩備なえて　水を　ためて　おいてね。

手紙は　また　⑪出します。冬休みは　そちらで　ゆっくり　⑫過したい。

お体を　たいせつに。

みさきより

番号	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			

番号	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			
⑪			
⑫			

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント　はってん②（おしらせ　さがし）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小5／線が　ない　文から　さがす（5まいの　うち　④）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの　まちがい　3しゅるい

あ	**送りすぎ** … 漢字が　読む　ところまで　ひらがなに　した	×思もう　→　○思う
い	**「しい」の「し」が　ない**	×美い　→　○美しい
う	**そのほかの　送りたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない	×考る　→　○考える

おしらせの　文から、送りがなの　まちがいを　みつけて　○で　かこもう。
表に　正しく　書きなおして、記号（あ・い・う）も　書こう。
まちがいは　ぜんぶで　5こ。線は　ひいて　ありません。送りがなの　ある　ことばを　1つずつ　しらべよう。

かんきょう委員会の　おしらせ

来週は　かんきょう週間です。ごみが　増える のを 防ぎます。

クラスで 余まった　紙は、ふくろに　まとめて　ください。

教室は　毎日　きれいに　保ちます。

ごみは　ルールを　守て　わけて　ください。

ごみの　出し方が　正く　できて　いるか　みます。

高学年の　委員が　低学年を　導びきます。

みんなの　意見を　委員会に　寄てください。

さいごの　日に　校長先生を　招きます。

番号	まちがえた　ことば （ことばだけ　うつす）	なおした　書き方	記号 （あ・い・う）
①			
②			
③			
④			
⑤			

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「送りがな」のプリント一覧がひらきます

送りがなプリント はってん②（見なおし チェック）

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小5／まちがいの わけを ことばで（5まいの うち ⑤）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

見なおし チェック表 （自分の 作文を 書いたあとも つかえます）

- あ 漢字が 読む ところまで ひらがなに して いないか
- い 「しい」の「し」が ぬけて いないか
- う ひらがなが たりなくて 読めなく なって いないか

作文の 線の ことばを しらべて、表に ○か ×を 書こう。
×は 正しく なおして、まちがえた わけを ことばで 書こう。
まちがいは ぜんぶで 3こ。わけは 記号でなく ことばで。れい：「美い」は「し」が ない。

あおいさんの 作文「理科の じっけん」

理科の じっけんで、ろうそくの 火が おおきく ①燃えた。

びんを かぶせて、火を ②消た。

火が きえる わけを、グループで ③調べた。

びんの 中で けむりが 空気と ④混まざった。

二回の じっけんの けっかは ⑤等かった。

これからも 理科を ⑥学びたい。

番号	○×	なおした 書き方	まちがえた わけ（ことばで 書こう）
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			

送りがなプリント はってん②（ひとつずつ しらべ）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小5／ひとつの 文に 線の ことば ひとつ（5まいの うち ①）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの まちがい 3しゅるい

あ	**送りすぎ** … 漢字が 読む ところまで ひらがなに した	×思もう → ○思う
い	**「しい」の「し」が ない**	×美い → ○美しい
う	**そのほかの 送りたりない** … ひらがなが たりなくて 正しく 読めない	×考る → ○考える

線の ことばが 正しいか しらべ、○か ×の どちらかに しるしを つけよう。
×は 正しく なおして 右の わくに 書き、記号（あ・い・う）も 書こう。
まちがいは ぜんぶで 6こ。○の ことばは なおさない。線の ことばだけ しらべよう。

○か ×か　なおした 書き方（×の ときだけ）　記号

① たんじょう日に 母が とても ~~喜こんだ~~。

○ ×　喜んだ　あ

② 教室で えんぴつの 長さを 比べます。

○ ×　（なおさない）

③ 山道は とても ~~険かった~~。

○ ×　険しかった　い

④ 町の 人口が 増えた。

○ ×　（なおさない）

⑤ 海から ふく 風が 快かった。

○ ×　（なおさない）

⑥ 社会の じゅぎょうで 地図を ~~確めた~~。

○ ×　確かめた　う

⑦ 山で 道に 迷いました。

○ ×　（なおさない）

⑧ おじさんは 店を ~~営なんで~~ います。

○ ×　営んで　あ

⑨ キャンプで テントを 張った。

○ ×　（なおさない）

⑩ おなじ 組の 子とは ~~親くて~~、よく あそぶ。

○ ×　親しくて　い

⑪ 日曜日の 電車は ~~混で~~ いた。

○ ×　混んで　う

⑫ みんなで 台風に 備えます。

○ ×　（なおさない）

つまずきやすいところ

喜こんだ・営なんで は 送りすぎの 例。比べます・快かった・迷いました は 長く 見えても 正しい 書き方。
険かった のように「しい」の「し」が ない まちがいは い に します（う ではなく）。
○の ことばを なおしたら その問は 誤答。なおしは 文の かたちの まま 書く（もとの 形に もどしたら 不可）。

送りがなプリント　はってん②（日記の　なおし）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小5／日記の　線の　ことば（5まいの　うち　②）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの　まちがい　3しゅるい

あ	**送りすぎ** … 漢字が　読む　ところまで　ひらがなに　した	×思もう　→　○思う
い	**「しい」の「し」が　ない**	×美い　→　○美しい
う	**そのほかの　送りたりない** … ひらがなが　たりなくて　正しく　読めない	×考る　→　○考える

日記の　線の　ことばを　しらべて、表に　○か　×を　書こう。
×は　正しく　なおして、記号（あ・い・う）も　書こう。
まちがいは　ぜんぶで　6こ。○の　ことばは　なおさない。線の　ことばだけ　しらべよう。

さくらさんの　日記

十月二十日　くもり

今日は　社会科で　農家へ　いった。

農家の　人が　田んぼを　①耕した。ぼくは　土に　水を　②~~混ませて~~（×→混ぜて）こねた。

日ざしが　③暑かった　ので、あせを　かいた。

農家の　人は　朝　五時に　④起きます。ぼくは　まだ　作業に　⑤~~慣た~~（×→慣れた）。

ぼくたちは　トマトを　⑥~~採とった~~（×→採った）。かごは　⑦重かった。

農家の　人は　⑧~~新い~~（×→新しい）　道具も　つかって　いた。

ごはんは　農家の　人が　米を　⑨育てた　おかげだ。

ひやして　おいしさを　⑩~~保た~~（×→保った）　そうだ。

⑪~~正い~~（×→正しい）　やり方を　まなんで、ぼくも　農家を　⑫営みたい。

番号	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
①	○	（なおさない）	
②	×	混ぜて	あ
③	○	（なおさない）	
④	○	（なおさない）	
⑤	×	慣れた	う
⑥	×	採った	あ

番号	○×	なおした　書き方（×の　ときだけ）	記号（あ・い・う）
⑦	○	（なおさない）	
⑧	×	新しい	い
⑨	○	（なおさない）	
⑩	×	保った	う
⑪	×	正しい	い
⑫	○	（なおさない）	

つまずきやすいところ

混ませて・採とった は 送りすぎの 例。暑かった・起きます・重かった は 長く 見えても 正しい 書き方。
新い のように「しい」の「し」が ない まちがいは い に します（う ではなく）。
○の ことばを なおしたら その問は 誤答。なおしは 文の かたちの まま 書く（もとの 形に もどしたら 不可）。

いちごドリル プリント

送りがなプリント はってん②（手紙の なおし）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小5／手紙の 線の ことば（5まいの うち ③）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの まちがい 3しゅるい

- あ **送りすぎ** … 漢字が 読む ところまで ひらがなに した　×思もう → ○思う
- い **「しい」の「し」が ない**　×美い → ○美しい
- う **そのほかの 送りたりない** … ひらがなが たりなくて 正しく 読めない　×考る → ○考える

手紙の 線の ことばを ぜんぶ しらべて、表に ○か ×を 書こう。
まちがいの かずは かいて ありません。×は なおして、記号（あ・い・う）も 書こう。

おばあちゃんへ

おげんきですか。わたしは 委員会の 仕事にも ①慣れました。

ほうかごに 町の れきしを ②~~調らべた~~（×→調べた）。むかしの 地図と 今の 地図を ③比べた。

人は 川の 近くから 駅の 近くへ ④移った。図書館の 先生は ふるい 本を ⑤~~貸た~~（×→貸した）。

本には、川の ようすが 地図で ⑥示して あった。むかしの 村は ⑦~~貧かった~~（×→貧しかった）。

むかしの 人は 力を あわせて、今の 町を ⑧築いた。

この 町の ことを もっと くわしく ⑨確かめます。

来月は ぼうさいの 日。台風に ⑩~~備なえて~~（×→備えて） 水を ためて おいてね。

手紙は また ⑪出します。冬休みは そちらで ゆっくり ⑫~~過したい~~（×→過ごしたい）。

お体を たいせつに。

みさきより

番号	○×	なおした 書き方（×の ときだけ）	記号（あ・い・う）
①	○	（なおさない）	
②	×	調べた	あ
③	○	（なおさない）	
④	○	（なおさない）	
⑤	×	貸した	う
⑥	○	（なおさない）	

番号	○×	なおした 書き方（×の ときだけ）	記号（あ・い・う）
⑦	×	貧しかった	い
⑧	○	（なおさない）	
⑨	○	（なおさない）	
⑩	×	備えて	あ
⑪	○	（なおさない）	
⑫	×	過ごしたい	う

つまずきやすいところ

調らべた・備なえて は 送りすぎの 例。慣れました・確かめます・出します は 長く 見えても 正しい 書き方。
貧かった のように「しい」の「し」が ない まちがいは い。貸た のように 動詞の「し」が ない まちがいは う に します。
○の ことばを なおしたら その問は 誤答。なおしは 文の かたちの まま 書く（もとの 形に もどしたら 不可）。

送りがなプリント はってん②（おしらせ さがし）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小5／線が ない 文から さがす（5まいの うち ④）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

送りがなの まちがい 3しゅるい

あ **送りすぎ** … 漢字が 読む ところまで ひらがなに した　×思もう → ○思う

い **「しい」の「し」が ない**　×美い → ○美しい

う **そのほかの 送りたりない** … ひらがなが たりなくて 正しく 読めない　×考る → ○考える

おしらせの 文から、送りがなの まちがいを みつけて ○で かこもう。
表に 正しく 書きなおして、記号（あ・い・う）も 書こう。
まちがいは ぜんぶで 5こ。線は ひいて ありません。送りがなの ある ことばを 1つずつ しらべよう。

かんきょう委員会の おしらせ

来週は かんきょう週間です。ごみが 増える のを 防ぎます。

クラスで 余まった 紙は、ふくろに まとめて ください。

教室は 毎日 きれいに 保ちます。

ごみは ルールを 守て わけて ください。

ごみの 出し方が 正く できて いるか みます。

高学年の 委員が 低学年を 導びきます。

みんなの 意見を 委員会に 寄て ください。

さいごの 日に 校長先生を 招きます。

番号	まちがえた ことば（ことばだけ うつす）	なおした 書き方	記号（あ・い・う）
①	余まった	余った	あ
②	守て	守って	う
③	正く	正しく	い
④	導びきます	導きます	あ
⑤	寄て	寄せて	う

つまずきやすいところ

○の まま よい ことば（長く 見えても 正しい 書き方）：増える・防ぎます・保ちます・招きます
余まった・導びきます は 送りすぎの 例。
正く のように「しい」の「し」が ない まちがいは い に します（う ではなく）。
○の ことばを なおしたら その問は 誤答。なおしは 文の かたちの まま 書く（もとの 形に もどしたら 不可）。

送りがなプリント はってん②（見なおし チェック）【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

小5／まちがいの わけを ことばで（5まいの うち ⑤）

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

見なおし チェック表 （自分の 作文を 書いたあとも つかえます）

- あ 漢字が 読む ところまで ひらがなに して いないか
- い 「しい」の「し」が ぬけて いないか
- う ひらがなが たりなくて 読めなく なって いないか

作文の 線の ことばを しらべて、表に ○か ×を 書こう。
×は 正しく なおして、まちがえた わけを ことばで 書こう。
まちがいは ぜんぶで 3こ。わけは 記号でなく ことばで。れい：「美い」は「し」が ない。

あおいさんの 作文「理科の じっけん」

理科の じっけんで、ろうそくの 火が おおきく ①燃えた。

びんを かぶせて、火を ②~~消た~~（×→消した）。

火が きえる わけを、グループで ③調べた。

びんの 中で けむりが 空気と ④~~混まざった~~（×→混ざった）。

二回の じっけんの けっかは ⑤~~等かった~~（×→等しかった）。

これからも 理科を ⑥学びたい。

番号	○×	なおした 書き方	まちがえた わけ（ことばで 書こう）
①	○	（なおさない）	
②	×	消した	「消す」の 送りがなが たりなくて、「消た」と 読めない。
③	○	（なおさない）	
④	×	混ざった	「混ざる」は「ざ」から 送る。「ま」まで ひらがなに した（送りすぎ）。
⑤	×	等しかった	「等しかった」の「し」が ぬけて いる。
⑥	○	（なおさない）	

丸つけの めやす

わけは どんな ことばでも よい。つぎの 考え方が 入って いれば ○（記号だけは ×）：

- □ あ：漢字が 読む ところ（「ま」など）まで ひらがなに している
- □ い：「しい」の「し」が ぬけている
- □ う：ひらがなが たりなくて 正しく 読めない